

能舞音楽劇

義経記

「人は皆、本当の絆がそこにあって、己が気づいていないだけかも知れない。」
 あふたも、心震える新たな源義経の伝説を知る……
 源義経の劇的な生涯を描いた、義経記を通じて、今も日本人の根底にある
 想いを現代に伝える。デーモン閣下の監修による脚本と朗読、そして歌。
 上妻宏光の書き下ろしの楽曲と演奏、山井綱雄の独自の能舞。ジャンルを異にする
 三者が新たな解釈で表現し、歴史や伝統に根ざしながらも、エンターテインメント性を
 伴った新日本様式で表現するのが、能舞音楽劇「義経記」である。



デーモン閣下

上妻宏光

山井綱雄

日時 2018年9月2日 日 開場=15:00
 開演=15:30

場所 倉敷市芸文館ホール

会場ウェブサイト
<https://arsk.jp/geibun/>

◎ チケット料金 …………… 全席指定・一般 ¥4,000 / 大学生以下 ¥1,000 (税込) (当日は各 500 円増) ※前売り券が完売した場合、当日券の発売はありません
 ※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください

◎ チケット発売日 …………… [会員先行] 6月12日[火] [一般発売] 6月14日[木]

◎ チケット発売所

◎ チケットお問い合わせ …… アルスクらしきチケットセンター
 086-434-0010 (平日9時~17時/土日祝は休み)
<https://arsk.jp/>

アルスクらしきチケットセンター・倉敷市芸文館・インディスク(天満屋倉敷店4F)
 ぎんざや・岡山シンフォニーホールチケットセンター・岡山県音楽文化協会
 チケットひあ0570-02-9999 (Pコード:486-278) <http://t.pia.jp/>

義経記

能の原典として名高い「義経記」を題材にし、
デーモン閣下、上妻宏光、山井綱雄によって創作される新たな音楽劇



デーモン閣下

魔暦紀元前17(82)年、ロックバンドの姿を借りた悪魔の集団「聖飢魔II」の説法・音力として現世に侵襲。以後「芸術・娯楽の創作演出、表現」「世情諷刺」等で遍く「浮世媒体」にて世に長期蔓延。

魔暦前5(94)年、富士写真フィルム「写ルンです」CMで広告人賞等を受賞。魔暦9(07)年、i-tunesのROCK-AL部門年間チャート1位。

和の伝統芸との共作活動は超30年間超百回展開中。上海万博では「文化交流大使」も執務。6年目20公演を迎える当「義経記」と共に、山井綱雄氏も出演の主催シリーズ「和洋融合新Collaboration(和洋歌舞音曲調いの交響堂)」は19年目で77回(継続中)、龍楽笛方・一噌幸弘氏との「未来の古典」創作活動「幽玄悪魔」も継続公演化中、和太鼓奏者・レナード衛藤氏の「Blendrums」にも度々出演。

また魔暦10(08)年の初監督映画「コナニシテ・フク」での音楽や、非常勤出演のNHK-E・TV「ニュースで英会話」番組主題曲作曲、更に昨年発表の2音楽作品集「EXISTENCE」(おRock)・「うただま」(秋Unplugged中心)でも邦楽器を重用、相模評論家を含め「和文化」アーティストたる。

TBS-TV「ひるおび」(毎水)に出演。広島県がん検診啓発特使、早大相模部特別参加(ともに7期目)。

《公式webサイト》<http://demon-kakka.jp/index.php>



上妻宏光

茨城県出身。6歳より津軽三味線を始め、幼少の頃より数々の津軽三味線大会で優勝する等、純邦楽界で高い評価を受ける。2000年に不格好にソロライブ活動を開始し、ニューヨーク、ニューオリンズで地元ミュージシャンとセッションも行う。帰国後デビューアルバム「1stアルバム『AGATSUMA』」と6thアルバム「FO-エン」は日本ゴールドディスク大賞の純邦楽アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2ndアルバム『BEAMS ~AGATSUMAJI』は全米リリースされ、アメリカ、EU、アジア等、世界50ヶ国以上で公演を行っている。

2013年には安倍内閣総理大臣主催の「TOKYO2020公式夕食会」、「第5回アフリカ開発会議 公式首脳晩餐会」において、日本を代表して演奏を披露。

近年では津軽三味線奏者として初めて歌舞伎の本興行(主演市川右老蔵)にも参加。舞台、映画、ドラマ、日本国内外アーティスト等の様々なシーンへの楽曲提供もしている。

2017年にはカザフスタンでの「2017年アスタナ万博」にて、日本を代表しプロデュース公演を行った。ジャンルや国境を越えたボーダレスな活動を重ねながら、伝統をふまえたついでに時代に合わせた感性を加え、津軽三味線の「伝統と革新」を追求し続けている。

また日本全国の小学校において日本の伝統音楽の魅力を伝える授業を行っており、次世代への文化伝承にも力を注ぐ新世代津軽三味線奏者の第一人者である。

《オフィシャルホームページ》<http://agatsuma.tv/>



山井綱雄

金春(こんばる)流能楽師。重要無形文化財(総合認定)保持者、(公社)金春門前井会常務理事。

79世宗家故金春信高、80世宗家金春安明、富山禮子に師事。金春流能楽師であった祖父の影響で5歳で初舞台。以来数々の大曲秘曲を披露。全国にて能楽公演・講座を多数開催。

2015年3月アメリカ・ロサンゼルスでの「グラミーミュージアム」にて能楽師初のライブ開催、スコットランド・エディンバラ演劇祭参加、カナダ能公演(日本国総領事招聘の文化使節団長として)、「能舞エウァンケリオン」発表。洋楽邦楽問わず他ジャンル芸術家との共演共作多数。平成26年度文化庁文化交流使として日本伝統文化の普及と外国文化との交流に尽力。2011年NHK大河ドラマ「江」、2016年NHK大河ドラマ「真田丸」に能主役出演と能楽監督・指導を手掛ける。2017年10月、カナダ・バンクーバーにて現地作曲家オベラ歌手と能オベラ「KAYOI KOMACHI」を共同制作し主演。能とオベラの新しい可能性を開拓。

能楽家古の金春流1400年の歴史と伝統の継承と、新たな世界への挑戦を続けている。

《公式サイト》<http://www.yamaitsunao.com>



視劇されたお客様の感想

◆初めて能と三味線を生で観て聴いて鳥肌が立ちました。すごい一言でした。デーモン閣下の語りと歌声もすごかったです。ラストシーンでは涙が出ました。とても素敵な時間を過ごせました。

◆能舞音楽劇とはどのようなものかと感じていましたが、演奏、語り、舞、全てをすばらしく本当に来てよかったと思いました。

◆ストーリーが理解しやすい構成で内容がスムーズに入ってきました。お能の舞を生で観るのは初めてでしたが、静と動のコントラストの美しさに感動しました。

◆初めてこのような舞台を見ました。とても新鮮で見応えがありました。和の良さをとても感じました。このような劇が今後広まっていけばいいなと思いました。

会場へのアクセス

倉敷市芸文館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央1-18-1
086-434-0400

※JR倉敷駅から
徒歩 20分 または バス「中央2丁目」下車すぐ

